

第7回産業競争力会議提出資料

「日本版NIH」の骨子及び「一般社
団法人MEJ（Medical Excellence
Japan）」の骨子

4月23日

内閣官房長官 菅義偉

「日本版N I H」の骨子

○ 次の取組により、医療分野の研究開発の司令塔機能（「日本版N I H」）を創設するため、所要の法整備を行う。

一. 司令塔の本部として、内閣に、総理・担当大臣・関係閣僚からなる推進本部を設置する。

○政治の強力なリーダーシップにより、①医療分野の研究開発に関する総合戦略を策定し、重点化すべき研究分野とその目標を決定するとともに、②同戦略の実施のために必要な、各省に計上されている医療分野の研究開発関連予算を一元化し（調整費など）、戦略的・重点的な予算配分を行う。

一. 一元的な研究管理の実務を担う中核組織を創設する。

○総合戦略に基づき、個別の研究テーマの選定、研究の進捗管理、事後評価など、国として戦略的に行うべき実用化のための研究を基礎段階から一貫通貫で管理し、実務レベルの中核機能を果たす独立行政法人を設置する。

※ 独立行政法人の設置は、スクラップアンドビルド原則に基づき行うこととし、公的部門の肥大化は行わない。

一. 研究を臨床につなげるため、国際水準の質の高い臨床研究・治験が確実に実施される仕組みを構築する。

○臨床研究中核病院及び早期・探索的臨床試験拠点において、企業の要求水準を満たすような国際水準の質の高い臨床研究・治験が確実に実施されるよう、所要の措置を講ずる。

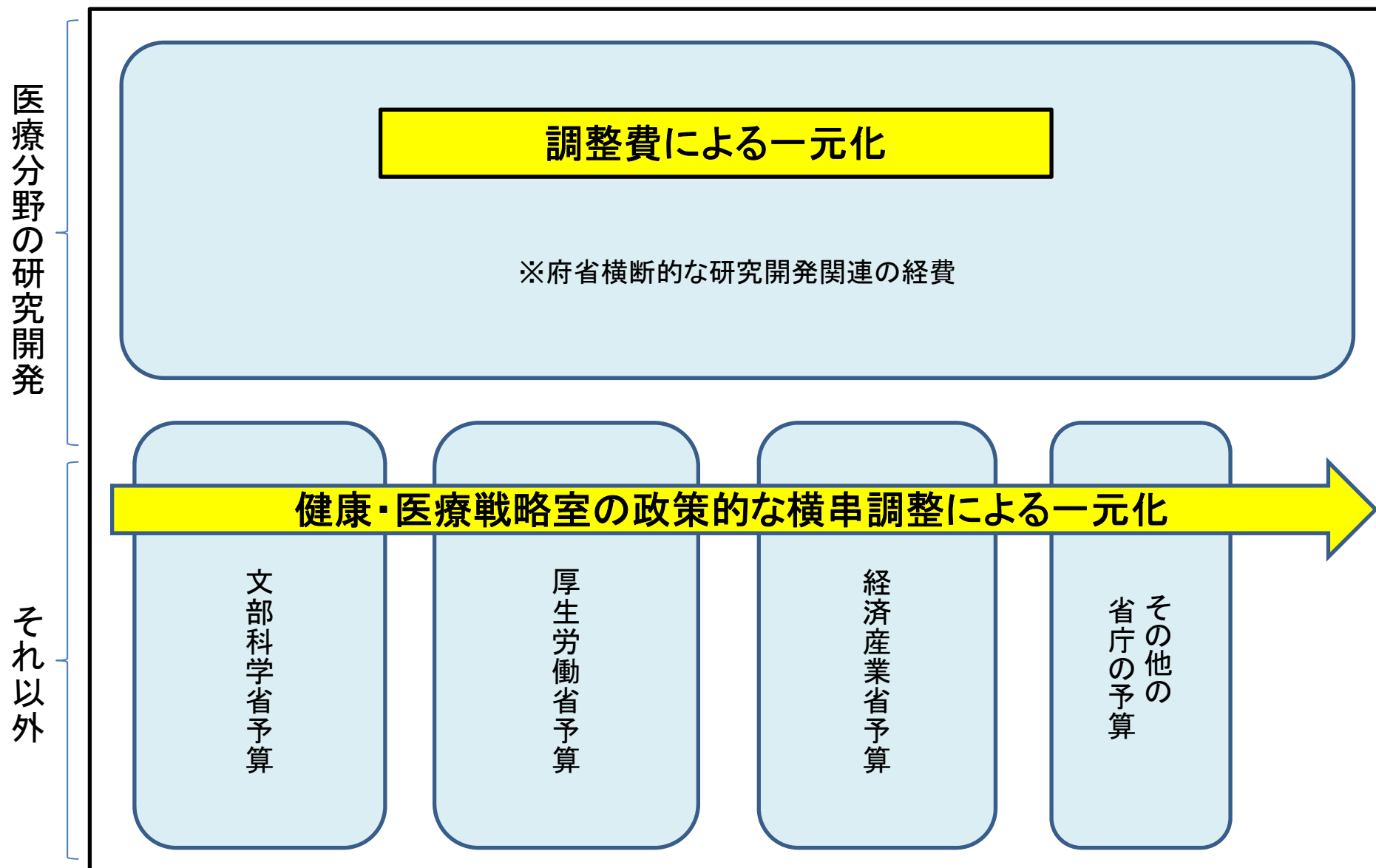
○臨床研究・治験の実施状況（対象疾患、実施内容、進捗状況等）を適切に把握するため、知的財産の保護等に十分に留意しつつ、こうした状況を網羅的に俯瞰できるデータベースを構築する。

○民間資金も積極的に活用し、臨床研究・治験機能を高める。

以上の三点を有機的・一体的につなげることで、司令塔機能の発揮に万全を期す。

以 上

健康・医療関連予算一元化のイメージ



「一般社団法人 MEJ (Medical Excellence JAPAN)」の骨子

- 国際医療協力の推進のため、政府の支援のもと、医療機関と医療機器メーカーが連携した海外展開支援、外国人患者の受入れ支援、医療機関・医療従事者の交流促進、人材育成等の事務局機能を果たす組織として一般社団法人 MEJ (Medical Excellence JAPAN) を設立する。

一. 組織構成 (予定)

- 設立 平成 25 年 4 月 23 日
- 理事長 山本修三 (日本病院共済会代表取締役)
- 理事 産学官に代表者 計 10 名
注) 近藤達也 (医薬品医療機器総合機構理事長)、江藤一洋 (東京医科歯科大学名誉教授)、小松研一 (株式会社東芝メディカルシステムズ相談役) ほか
- 会員企業 医療機器メーカー 23 社
(東芝、日本電気、日立製作所、ソニー等)
注) 今後、医薬品 (ジェネリック等) メーカー、ゼネコン等も参画の見込み
- 連携医療機関 57 機関
注) 国立がん研究センター中央病院、大阪大学医学部附属病院、北原国際病院等

一. 段取り

- 4 月 22 日に社員総会、理事会を開催。
理事、定款決定
- 4 月 23 日登記 ⇒ 設立

一. MEJ 設立パーティ

- 候補日時 平成 25 年 6 月上中旬
- 規模 300 人程度
注) 総理、官房長官、経済産業大臣、各国大使 (ロシア、インドネシア、UAE、サウジアラビア等)、会員企業役員、連携医療機関代表者等

※ MEJ により新興国を中心に様々な事業が検討されているところ、総理が訪問されるロシア、UAE で下記案件が存在。

- ①ロシア (ウラジオストク) 北斗画像診断センター (5 月に開院)
- ②ロシア (モスクワ) 日ロ先端医療センター (仮称) (事業検討中)
- ③UAE (アブダビ) 日本 UAE 先端医療研究センター (仮称)
(事業組成中)

以 上